

使徒聖パウロに贈りし書簡

冒頭

第一章 神の僕にしてイエズス、キリストの使徒たるパウロ、共通の信仰によりて我實子たるチトに「書簡を贈る」。我が使徒たるは、神に選ばれたる人々の信仰に應じ、又人を敬虔に導きて、ニ永遠の生命の希望を生ぜしむる眞理の知識に應ずる爲なり。即ち偽り給はざる神は世々の以前より此希望を約し給ひしに、三時至りて御言を顯すに宣教を以てし給ひ、其宣教は我救主にて在す神の命によりて我に託せられたるなり。四願はくは父にて在す神及び我救主キリスト、イエズスより恩寵と平安とを賜はらんことを。

第一編 善き聖職者の選択に関する教訓

五我が汝をクレタ「島」に置きしは、尚缺けたる所を整へ、且我が汝に命ぜし如く町々に長老を立てしめん爲なり、六即ち咎むべき所なく、一婦の夫にして、若子等あらば是も信徒にして、放蕩を以て訴へらるる事なく、順はざる事なき子等有てる人たるべし。七蓋監督は、神の家宰として咎むべき所なき人たるべし。即ち自慢せず、短氣ならず、酒を嗜まず、人を打たず、耻

づべき利を求めず、八旅人を接待し、善を好み、伶俐にして義人たり、信心家にして節制家たり、九教によれる眞の談を固く執り、健全なる教によりて人を勧むることを得、反對を稱ふる人に答弁をするを得る人たるべし。一〇蓋從はずして贅弁を弄し、以て人を惑はす者、殊に割禮の人々の中に多し。一彼等は耻づべき利の爲に、教ふべからざる事を教へ、全家をも覆すが故に、彼等をして閉口せしむるを要す。二彼等の中なる一人の預言者は言へり、「クレタ人は何時も虚言を吐きて、惡き獸、懶惰の腹なり」と。三この證言は實なり、此故に汝、彼等をして信仰に健全ならしめん爲に、鋭く之を譴責し、四ユデア教の寓言と、身を眞理に反くる人々の戒とに憑る事ならしめよ。五潔き人々には、物皆潔けれども、穢れたる人、不信の人には潔き物なく、其理性と良心と共に穢れたり。一六彼等は自ら神を識り奉れりと言言すれども、行に於ては之を棄てて實に憎むべきもの、反抗するもの、一切の善業に就きての廢物なり。

第二編 宣教及び牧會の法則

第一項 各階級の信徒の務

第二章 然れども汝は健全なる教に相當する事を語れ。二老人には節制し、尊く且敏くして、信仰と愛と忍耐とに健全ならん事を勧め、三老女には同じく聖女らしき行儀を守りて、誇らず、

酒を嗜まず、善く教へん事を勧め、四彼等をして若き女を敏く教へしめ、其夫を愛し、其子等を慈み、五伶俐、貞操（謹慎）にして家事を治め、親切にして夫に順ひ、神の御言の罵られざる様にすべき事を教へさせよ。六青年には同じく謹慎ならん事を勧めむべし。七萬事に就きて己を善業の模範に供し、教ふるに廉潔と厳格とを顯し、八言健全にして咎むべき所なかるべし、是反對者が、我等の惡を挙ぐるに術なくして自ら耻ぢん為なり。九奴隸には其主人に従ひて、何事も其旨を為し、言逆らはず、掠めず、一〇我教主にて在す神の教を萬事に飾らん為に、何事に就きても忠實を顯さんことを勧めよ。一一蓋一切の人に救と成る神の恩寵顯れ、一二我等に諭すに、不敬虔と世俗の欲とを棄てて、謹慎と正義と敬虔とを以て此世に生活すべき事、一三福なる希望即ち、我等の教主にて在す大御神イエズス、キリストの光榮なる公現を待つべき事を以てせり。一四キリストが我等の為に己を付し給ひしは、我等を一切の不義より贖ひて、善業に熱心なる固有の民を、己が為に潔め給はんとてなり。一五汝是等の事を全き權威を以て語り、且勧め、且諫めよ、誰も汝を輕んずべからず。

第二項 外界に對する信徒の務

第三章 汝彼等を諭して、君主及び有権者に服し、言はるる事に従ひ、凡ての善業に己を備へ、誰をも罵らず、争を好まず、

寛仁にして凡ての人に對して所有温和を顯す事を忘れざらしめよ。三蓋我等も、曾て無知不信心にして、迷ひて様々の慾望と快樂との奴隸と成り、惡と嫉妬との中に生活し、憎まるべくして相憎む者なりき。四然れども我教主にて在す神の慈恵と仁愛との顯るに及び、五我等が行ひし義の業によらず、御慈悲によりて聖靈の賜ふ再生と一新との水洗を以、我等を救給。六我教主イエズス、キリストを以て、聖靈を豊に我等に濯ぎ給ひしは、七我等が其恩寵によりて義とせられ、永遠の生命の希望に於る世嗣と成らん為なり。八是眞實の談にして、我之に就きて汝の断言せん事を欲す、其は神を信じ奉るひとをして、励みて善業に従事せしめん為なり。斯る業こそは善良にして人に益ある事なれ。九愚なる問題と系圖と、争論と律法上の争とを避けよ、其は無益にして、空しければなり。一〇異說者を一度二度訓戒して後は之に遠ざかれ、二其は斯の如き人の罪せらるるは、自らの判断にもよることなれば、邪にして誤れる者なる事を知ればなり。

結末

二我アルテマ、或はチキコを汝に遣はしなば、急ぎてニコボリなる我許に來れ、我冬を彼處に過さんと決したればなり。一三法律家なるゼナ及びアポル口を手厚く送りて、足らざる事なか

らしめよ。一四 斯て我等の「兄弟等」も、果を結ばざる者と成ら
ざらん為「兄弟の」必要に應じて善業に従事する事を學ぶべ
し。一五 我と共に居る人々、皆汝に宜しくと言へり。信仰に於て
我等を愛する人々に宜しく傳へよ。願はくは神の恩寵汝等
一同と共に在らんことを、アメン。